

上下水道局

令和4年度 重点目標

- 1 持続可能な事業運営の推進
- 2 きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進
- 3 上水道施設の計画的な維持・更新
- 4 下水道施設の計画的な維持・更新
- 5 危機管理体制の充実

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	持続可能な事業運営の推進		部局名	上下水道局	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築				
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 給水人口の減少や節水意識の高まり等により料金収入が減少する一方で、上下水道施設の更新や耐震化費用の増加が見込まれることから、上下水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。こうした状況に対応するため、平成31年3月に策定した「水道ビジョン」、「下水道ビジョン」及び令和2年2月に改定した上下水道事業経営戦略を踏まえ、定期的に事業を見直しながら、健全な経営を進めていく必要があります。 令和2年度の上水道審議会では、令和6年度までの水道料金の基本料金について平均改定率8.3%の引上げについて答申を受け、令和3年10月に水道料金の改定を行いました。引き続き健全経営による持続可能な事業運営が求められます。 熟練技術者の退職や異動により、技術力の確保や継承が年々難しくなっていることから、危機管理も考慮した人員体制の充実を図っていく必要があります。 給水区域が隣接する県企業局・長野市・上田市・千曲市・坂城町の5事業体が構成する水道事業広域化研究会に参加し、広域連携の研究を進めてきましたが、経営の合理化等について広く市民に周知する必要があります。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンや経営戦略に沿って事業を推進することで、財源とバランスのとれた投資を行うことが可能になります。 職員が計画的に研修受講や資格取得を行い、次の世代につなげる人材育成を図ります。 水道事業広域化研究会に参加し、広域連携の研究を進め、経営の合理化について検討します。 		該当するSDGsの目標	 		
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
① 人材の育成 継続的な外部研修の受講促進や資格取得の奨励による人材育成の実施	4月～3月	外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ10人 ・上下水道技術関係 延べ20人 ・作業資格取得講習会 延べ10人	外部研修・資格取得研修受講(9月末現在) ・事務系講習会 延べ6人 ・上下水道技術関係 延べ8人 ・作業資格取得講習会 延べ4人		外部研修・資格取得研修受講 ・事務系講習会 延べ11人 ・上下水道技術関係 延べ20人 ・作業資格取得講習会 延べ12人	
② 収納率の向上 水道料金・下水道使用料（現年度分）	4月～3月	収納率 水道 99.53%以上 下水道 99.50%以上	収納率 水道 99.00%（9月末現在、前年同期99.04%） 下水道 98.97%（9月末現在、前年同期98.96%）		収納率 水道99.41%、下水道99.42% 計99.42% （参考） 令和3年度 水道99.53%、下水道99.50% 計99.51% 令和2年度 水道99.48%、下水道99.35% 計99.40%	
③ 水洗化の促進 公共下水道地域、農業集落排水事業地域の戸別訪問等による水洗化促進の実施	4月～3月	新規接続戸数 750戸	新規接続戸数 420戸 （9月末現在、目標達成率56.0%、前年同期469戸） 【参考】4月(60戸) 5月(66戸) 6月(101戸) 7月(52戸) 8月(68戸) 9月(73戸)		新規接続戸数 941戸 125.4% （参考） R3 目標750戸に対し1,020戸接続 R2 目標750戸に対し1,032戸接続	
④ 広域連携に係る研究・検討 (1) 広域連携に関する調整会議への参加 (2) 検討経過の市民周知	4月～3月	(1) 研究会、幹事会への参加 (2) 住民への広報等の実施	(1) 研究会1回、幹事会9回 参加 (2) 各地域協議会にて説明（5会場） 広報うえだ10月号（水道事業広域化検討）記事作成		(1) 研究会1回、幹事会22回 参加 (2) 各地域協議会にて説明（5会場） 広報うえだ10月号（水道事業広域化検討）掲載 専用フォームから意見募集	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	きれいで安全な水を供給する上水道事業の推進		部局名	上下水道局	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続		上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築				
現況・課題	<p>・上水道の水源は、河川の表流水、ダム水、地下水、湧水など28箇所あります。このうち、湧水水源の一部には、降雨時における濁質やクリプト汚染等による影響により、水質が不安定になることから、この対策が急務となっています。このような湧水水源に対しては、この上流域で水質が安定し水量が豊富な湧水水源による給水に切り替えを進めているところですが、これらの水源の有効活用により維持管理の軽減化が求められています。</p>					
目的・効果	<p>・安定した湧水の活用を行うことにより、気象の影響を受けやすい湧水水源の代替や、配水系統間の相互融通や水運用の改善が図られ、より良質で経済的な水の供給が可能となります。</p> <p>・安全安心な水道を将来に渡って維持し、持続的な水道水の供給を確保するため、水質管理体制の強化を図ります。</p>		該当するSDGsの目標	  		
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○水源の安全性向上 (1)水源の確保 (2)水源の水質検査強化	4月～3月	(1)水源整備 1箇所 浄水方法変更 1箇所 認可変更 (2)クリプトスポリジウム検査 16箇所 37検体 指標菌検査 20箇所 94検体	(1)水源整備1箇所 長入水源用地取得完了 10月発注予定 浄水方法変更 余里 発注済 認可変更 発注済 (2)クリプトスポリジウム検査 11箇所 16検体 指標菌検査 20箇所 45検体 (つちや水源給水区域拡大に伴い不要となった水源の検査数の減少)	(1)水源整備1箇所 長入水源用地取得完了 ポーリング完了 浄水方法変更 余里 過設備工事完了 認可変更（協議に期間を要し繰越） (2)クリプトスポリジウム検査 16箇所 31検体 指標菌検査 25箇所 103検体 (つちや水源給水区域拡大に伴い不要となった水源のクリプトスポリジウム検査の減少)	
②	○水質監視体制の強化 検査及び管理機器更新	4月～3月	水質検査機器更新 分光光度計 1基 自動点滴定器 1基 水質計器更新 濁度計 1箇所 残留塩素計 2箇所 油分計 1箇所	水質検査機器更新 分光光度計 発注済 自動点滴定器 後期発注予定 水質計器更新 濁度計、残留塩素計 後期発注予定 油分計（泉町） 発注済	水質検査機器更新 分光光度計 完了 自動点滴定器 完了 水質計器更新 濁度計、残留塩素計（機器製作に期間を要し繰越） 油分計（泉町） 完了	
③	○地下水源の運用拡大整備事業の推進 滝の入水源を活用した新たな導・配水施設の整備	4月～3月	滝の入水源整備における各種届出事業実施に伴う各種許可申請事務工事着手	各許可申請書作成、関係機関との事前協議開始 熊久保ルート工事着手	各許可申請書作成、関係機関との事前協議開始 (自然公園法、保安林関係) 熊久保ルート工事着手	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	上水道施設の計画的な維持・更新	部局名	上下水道局	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築			
現況・課題	・上水道の施設及び管路は老朽化が進行し、特に1980年から2000年の敷設ピーク時の管路が今後、更新時期を迎えることになるため、法定耐用年数（40年）を経過した老朽管が年々増加してきます。また、耐震化率が低い水準にあることから、大規模地震が発生した場合、水道水を供給する機能が多くの損なわれる可能性があることから、老朽施設の更新や耐震化を早急に進めて行く必要があります。				
目的・効果	・老朽化した水道施設や管路の更新及び耐震化は、市民生活に欠くことのできないライフラインである上水道の強靱化を進めるために必要不可欠な事業であり、施設の更新に当たっては、アセットマネジメントによる更新需要と中長期的な財政推計を踏まえながら、計画的に進めてまいります。また、上水道管路の計画的更新や耐震化は、日常の管破裂や漏水などの減少につながることから、有収率の向上が期待できます。	該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	○上水道基幹管路の耐震化及び経年管の更新、有収率の向上 (1)基幹管路の耐震化及び経年管の更新 (2)有収率の向上	4月～3月	(1)更新延長 L=2.7km (2)有収率 85%	(1)更新延長 L=2.39km 発注済 (上田・真田地域L=1.62km、丸子・武石地域L=0.77km) (2)有収率84.64%（9月末現在、前年同期84.29%） ※衛星による漏水調査結果を考察し、漏水調査委託に反映させる。	(1)更新延長 L=2.4km（発注済2.7km） (上田・真田地域L=1.5km、丸子・武石地域L=0.9km) (2)有収率83.63%（前年同期84.24%） ※プロポーザル方式による有収率向上対策業務委託（R4～R7年度契約）を契約、実施中。来年度から調査結果を踏まえ修繕工事を実施
②	○計画的な水道施設整備の推進 (1)更新 (2)耐震補強工事	4月～3月	(1)浄水場内管路 1箇所 (2)詳細設計 2箇所	(1)浄水場内管路 1箇所（ろ過管路）設計完了 (2)詳細設計 2箇所（染屋ろ過池・ろ過装置）発注済	(1)浄水場内管路 1箇所（ろ過管路）設計完了 工事発注済 工事は2箇年計画 (2)詳細設計 2箇所（染屋ろ過池・ろ過装置）設計完了
③	○ポンプ設備等の更新 ポンプ及び自家発電機	4月～3月	上田地域 3箇所 丸子地域 2箇所 武石地域 1箇所	上田地域 泉町ポンプ設備 10月発注予定 久保田ポンプ場自家発電設備 後期発注予定 長入水源井戸ポンプ（認可協議進捗率考慮し次年度発注） 丸子地域 鹿教湯浄水場非常用発電機更新 発注済 腰越浄水場急速ろ過池洗浄ポンプ更新 10月発注予定 武石地域 武石獅子ヶ城第一水源ポンプ更新 発注済	上田地域 泉町ポンプ設備更新 発注済 2箇年工事 久保田ポンプ場自家発電設備 発注済（繰越） 長入水源井戸ポンプ（認可協議進捗率考慮し次年度発注） 丸子地域 鹿教湯浄水場非常用発電機更新 完了 腰越浄水場急速ろ過池洗浄ポンプ更新 発注済（繰越） 武石地域 武石獅子ヶ城第一水源ポンプ更新 完了
④	○浄水場等設備更新 遠方監視設備ほか	4月～3月	制御システム及び設備更新 上田地域 3箇所 丸子地域 1箇所	制御システム及び設備更新 上田地域 染屋中央監視プログラム更新 発注済 石舟次垂注入設備更新 発注済 染屋PACコントローラー更新 発注済 丸子地域 池の芝配水池次垂注入設備新設 後期発注予定	制御システム及び設備更新 上田地域 染屋中央監視プログラム更新 発注済（繰越） 石舟次垂注入設備更新 完了 染屋PACコントローラー更新 完了 丸子地域 池の芝配水池次垂注入設備新設 中止
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	下水道施設の計画的な維持・更新	部局名	上下水道局	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築			
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道が建設から維持管理の時代に移行していく中、施設の老朽化が課題となっており、老朽化が進む施設の計画的な更新を図るため、下水道施設長寿命化計画及び後継計画であるストックマネジメント計画を策定し事業を実施しています。今後は、安定した下水処理を維持するため、長期的な計画に基づいた施設の更新を実施していく必要があります。 ・人口の減少や少子高齢化の進展、省エネルギー化など、社会情勢の変化に伴い、市民のライフスタイルも大きく変わる中、下水道事業も建設から維持管理へと大きく役割が変わってきており、維持管理の効率化を図る必要があります。 ・下水道施設の維持管理の効率化を更に図る上で、公共下水道施設への接続が有利と思われる農業集落排水施設については、公共下水道との統合についても検討が必要です。 				
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した下水処理を確保するため、下水道施設長寿命化計画及びストックマネジメント計画による施設の更新を図ります。 ・社会情勢の変化に対応した効率的な施設の維持管理を図るため、農業集落排水施設と公共下水道施設の統合計画を進めます。 	該当するSDGsの目標			
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標（どの水準まで）	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度) 及び (中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
①	<ul style="list-style-type: none"> ○し尿前処理下水道投入施設関連（南部終末処理場）南部終末処理場汚泥処理棟改築（増築）工事 (1) 建屋増築・土木工事 (2) 機械・電気設備工事 	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> (1) 外構・建屋増築工事の実施、完成 (2) 機械・電気設備工事の実施、完成 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 外構・建屋増築工事 11月完成予定 (2) 機械・電気設備工事 実施中 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 外構・建屋増築工事 11月現場完成 12月完成検査 (2) 機械・電気設備工事 実施中 R5.6月完成予定(R5.1月 一部供用開始) コロナ禍により、機器（半導体不足）の製作に不測の日数を要した。
②	<ul style="list-style-type: none"> ○長寿命化事業・ストックマネジメント事業及び耐震化事業の実施 (1) 南部終末処理場ほか耐震化工事 (2) 別所温泉終末処理場の設備更新工事 (3) 上・下塩尻ポンプ場、神川東ポンプ場 圧送管二条化工事 (4) 鉄蓋更新工事 	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> (1) 耐震化工事の実施 (2) 設備更新工事の実施 (3) 圧送管二条化工事の実施 (4) 更新工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 耐震化工事3箇所 発注済 (2) 単年度では、機器等の調達が困難なため、実施時期を見直し（R5年度以降） (3) 工事3箇所のうち、2箇所発注済、1箇所入札中 (4) 下水道課：工事入札中 丸子・武石上下水道課： 鉄蓋更新工事 西内工区 N=19枚 発注手続中 管渠更生工事 西内工区その2 L=228.7m 完了 管口耐震化工事 西内工区その2 N=28箇所 完了 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 事業団と協定締結済 入札不落により、再入札予定（R5年度へ繰越） (2) 単年度では、機器等の調達が困難なため、実施時期を見直し（R5年度予定） (3) 工事3箇所について、発注済（R5年度へ繰越） (4) 下水道課：鉄蓋更新工事 上田第1工区 完了 丸子・武石上下水道課： 鉄蓋更新工事 西内工区 N=19枚 完了 管渠更生工事 西内工区その2 L=228.7m 完了 管口耐震化工事 西内工区その2 N=28箇所 完了
③	<ul style="list-style-type: none"> ○農業集落排水施設統合事業の推進 (1) 豊殿南部地区⇒林之郷地区 (2) 山田地区⇒八木沢地区 	4月～3月	(1)～(2) 地元協議の実施	<ul style="list-style-type: none"> (1) 関係自治会への説明実施（7月） (2) 関係自治会への説明実施（8月） * (1) (2) とも地元協議継続中 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 関係自治会への説明実施（7月） * 統合について、関係自治会の了解済 (2) 関係自治会への説明実施（8月） * 地元協議継続中
④	<ul style="list-style-type: none"> ○農業集落排水施設の機能強化事業の実施 (1) 上洗馬処理場の機能強化工事 (2) 武石処理場の劣化調査 	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機能強化工事の実施 (2) 劣化調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機能強化工事 9月完成 (2) 劣化調査 発注済 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 機能強化工事 9月完成 (2) 劣化調査 発注済（R5年度へ繰越）
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点				○取組による効果・残された課題

令和4年度 重点目標管理シート

重点目標	危機管理体制の充実		部局名	上下水道局	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第2編 安全・安心な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第5節 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田再構築プラン Ver.2.0「もっと、前へ」における位置付け	4 日本を代表する循環型社会をつくる			
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 イ 健全な財政基盤の構築				
現況・課題	・上下水道建設から維持に携わってきた熟練技術者の退職や職員異動等により、災害時に迅速に対応できる技術の確保が課題となっています。大規模災害などに備え、災害時の応急給水活動体制など、ソフト面での対応が必要です。					
目的・効果	・施設の更新や耐震化は限られた財源の中で進めて行くことから長い期間を要します。しかし、自然災害はいつ発生するかわからず、施設の耐震化が不完全なうちに起ることも想定されます。そのため、災害が発生した際の復旧体制や応急対策を整えておくことは、迅速な災害復旧対応に繋がります。		該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○防災訓練の実施 防災訓練の実施による危機管理対応能力の向上	4月～3月	応急給水訓練 2回 県水との緊急連絡管操作訓練 1回 灯油等流入事故対応訓練 1回 他水道事業体との合同訓練 1回	応急給水訓練 コロナ禍の影響で延期、後期にて実施 県水との緊急連絡管操作訓練 10/19実施予定 その他の訓練は後期に計画予定	応急給水訓練 2回（上水道課:11/15、丸子・武石:10/5）実施 県水との緊急連絡管操作訓練 1回（10/19）実施 灯油等流入事故対応訓練 1回（11/15）実施 長和町との緊急連絡管操作訓練 1回（12/1）実施	
②	○災害時等、緊急時の体制整備	4月～3月	危機管理マニュアルの見直し	危機管理マニュアル整備中 東御市と給水援助協定（丸子地域）について協議（年度内に協定締結予定） 長和町との緊急連絡管部に仕切弁・排泥弁の設置工事完了（今後、合同操作訓練実施）	危機管理マニュアルを一部改訂（残りの見直しは来年度以降） 緊急連絡管の新規整備計画等により、東御市及び長和町と「給水援助協定」を締結（11/15）、3首長による「調印式」を挙行 長和町との緊急連絡管部に仕切弁・排泥弁の設置工事完了	
③	○防災備品の拡充	4月～3月	応急給水タンク 5基 応急給水栓 5基	応急給水タンク 後期に発注予定 応急給水栓 4基整備済	応急給水タンク 5基整備 応急給水栓 4基整備（給水タンク保有数に合わせ4基整備）	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		